

## あなたの使命とは何か(16)「教会は知恵の宝庫」

メッセージノート (2023.3.12)

エペソ 3:8-11<sup>8</sup> すなわち、聖徒たちのうちで最も小さい者であるわたしにこの恵みが与えられたが、それは、キリストの無尽蔵の富を異邦人に宣べ伝え、<sup>9</sup> 更にまた、万物の造り主である神の中に世々隠されていた奥義にあずかる務がどんなものであるかを、明らかに示すためである。<sup>10</sup> それは今、天上にあるもろもろの支配や権威が、教会をとおして、神の多種多様な知恵を知るに至るためであって、<sup>11</sup> わたしたちの主キリスト・イエスにあって実現された神の永遠の目的にそうものである。(口語訳)

教会とは、「知恵の宝庫」であるとパウロは言う。今日はこの教会というものについて考察してみたい。

- ◇ 私たちの教会のクラス1では、「教会とはどんなところだと思うか？」という質問から始まる。
  - ・ 礼拝する場所、聖書を学ぶ所、互いに励まし合う所、元気をもらう所、奉仕をする所など。
    - 多くの人は、教会とは助けをもらう所であると思っているが、それは聖書の教える半分だけである。
  - ・ 10節は、教会とはあらゆる分野における「知恵」をこの世に提供する学校(総合大学)のような所であるという。しかし、どうやって総合大学のような働きができるのだろうか？
- ◇ 今日は、教会に与えられているその使命と達成の仕方について学んでいきたい。

### 1. 「最も小さい者」の自覚

- ・ 神の恵みと力は、謙遜な者の上に働くという原則がある。

*詩篇 138:6* この上なく偉大な主は、謙遜な人を重んじ、高慢な人を寄せつけません。(LB)
- ・ この「最も小さい」という言葉は、原語では「小さい」の最上級に、さらに比較級をプラスしたパウロの造語。「いと小さき者よりも小さき者」意味。
- ・ パウロのこの自己評価(厳しい自己認識)は、年を重ねるごとに強くなってきていることが分かる。
  - この手紙を書いている時よりも数年前:「使徒の中で最も小さい者」(1コリント 15:9)
  - 今:「聖徒たちのうちで最も小さい」(エペソ 3:8)
  - 2~3年後:キリスト教徒の枠も外れて、すべての人の中で「罪人の頭」(1テモテ 1:15)
- ・ この謙虚さこそ、神に用いられる資質である。モーセ「この地上で最も謙虚な人」(民数記 12:3)。イエス「キリストの謙卑」(ピリピ2章)。

*ピリピ 2:6-8* <sup>6</sup>キリストは神であられるのに、神としての権利を要求したり、それに執着したりはなさいませんでした。<sup>7</sup>かえって、その偉大な力と栄光を捨てて奴隷の姿をとり、人間と同じになりました。<sup>8</sup>そればかりか、さらに自分を低くし、犯罪人と同じようになって十字架上で死なれたのです。
- ・ この自己評価は、決して人との比較の中から生まれてきているのではない。それは、神の恵みの前に立つたに強化されていった意識である。自分は、ここまで愛され、大切にされていたのかという感謝。
  - それは、赦しの恵みであり、自分の汚れにもかかわらず神の大いなる働きの中で用いていただいている有り難さから来ている。
- ◇ あなたは、自分の愚かさや至らなさにもかかわらず、主が赦し励まし用い続けてくださっていることに感動したことはないか？この有り難さの自覚こそが、神に喜んで奉仕する動機である。
- ✚ ジョン・バニアンが大きく用いられた理由は、罪自覚から来る謙虚さであった(『罪人の頭に溢るる恩寵』)。

## 2. 人生は「無尽蔵の富」を探る旅

- ・ 「富」は、先にパウロは「神の豊かな恵み」(エペソ 1:7)という表現をもって、この地上の「富」を超越した豊かさについて述べた。ここでは、さらに形容の言葉、「無尽蔵の」を付け加えている。
- ・ 「無尽蔵の」と訳された言葉は、人間の能力では、辿ることも推し量ることもできないほど豊かで、「測り難い」、「知り尽くせない」という意味。福音(神の愛)の豊かさは、一生かかっても理解しきれない。この汲めども尽きない恵みを受け取り続けていくのがクリスチャンの人生である。

*ヨハネ 1:16 私たちすべての者は、その満ち満ちているものの中から受けて、恵みに恵みを加えられた。*
- ・ この「富(プロオトス)」という言葉の語源は、「満たす、全うする(ピンプレイミー)」から来ていて、イエスが最初の弟子たちを召された時、二艘の舟が沈みそうになる程の量の魚で、舟は「いっぱいになった(満たされた)」という箇所でも使われている(ルカ5:7)。
  - ペテロらは、世の富を求めていたが、イエスはそういったものを超越した無尽蔵の富である「人間をとる漁師」にすると言われた。その時彼らにはその意味は分からなかったが、後でそれを受け取り満たされた。
- ◇ あなたは、この地上で終わってしまう富よりも、神が用意しておられる無尽蔵の「富」を紐解いていく人生の旅を生き始めているか？毎日、神の提供される富に期待しながら過ごしているだろうか？
- ◇ 信仰生活を何年か経験し、神の愛や計画についてある程度理解できたつもりなら、それは大きな誤解である。毎日が、神との冒険(望見)である。まだまだ知らないことが山ほどある。

## 3. 多種多様な知恵

- ・ 「多種多様(ポリポイキロス)」と訳された言葉は、多くの色彩、複雑で美しい織物を表す詩的な表現。それは、エペソ 2:10 で私たちが「最高傑作品(ポイエイマ>ポエム)」として造られたことに関係している。
- ・ 私たちが神の意図された人生を生きていく時、一つの美しい色や糸となって、神が作っておられる豊かな福音(神の国の恵み)を人々に提供できるようになるのだ。また、同時に、それは単に部品としてではなく、それ自体がこの世が必要としている専門性の高い知恵となる。
- ◇ このように、教会(あなた)はこの世に対して<sup>1</sup>、単に宗教的活動のみならず、様々な分野における証(知恵)を提供することのできる場なのである。それゆえ「知恵の宝庫(デパート)」なのだ。
- ◇ あなたには、この世に貢献すべきメッセージや業がある。だから、教会ではそうなるために様々な訓練が行われる→自分の SHAPE(使命)を発見し、協力者を見出すところが教会。そして、あなたはキリストの十字架の救いのメッセージとともに、救われた者たちが「神の国(家族)」を形成していけるよう助ける使命がある。
- あなたの使命は何だろう？あなたの使命は、「神の永遠の目的にそうものである」(11)とされている。それは、異邦人の救いが、イスラエルが失敗したので、神が次善策として思いついたのではなかったように、あなたは永遠の昔より神に知られ、神のご計画の中に「スタメン」として選ばれていた。そのことを信じるか？

*エペソ 1:4a 神はこの世界をお造りになる前から、私たちを、ご自分のものとして選んでくださいました。*

*詩篇 139:16 あなたは(神)は、私が生まれる前から私をご覧になっておられ、私が呼吸を始めないうちに私の生涯の一日一日のスケジュールを作られました。そして、そのすべてがあなたの書物に記録されました。*

<sup>1</sup>「天上にあるもろもろの支配や権威」(10)の解釈をめぐるには様々な意見があるが、私はこの世に影響を及ぼしている超自然的力(暗黒の勢力も含め)に対してさえも、教会は神の代理人として知恵と愛をもって正義を打ち立てていく(証していく)使命があると解釈する。